



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 プリマハム株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 2281 URL <http://www.primaham.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 鉄也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役第一管理本部長 (氏名) 前田 茂樹 (TEL) 03-6386-1800  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	65,660	△2.0	1,612	△21.4	1,929	△21.1	1,015	△31.1
24年3月期第1四半期	67,016	11.8	2,051	70.7	2,444	79.3	1,473	197.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,140百万円(△36.3%) 24年3月期第1四半期 1,789百万円(223.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.54	—
24年3月期第1四半期	6.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	108,905	37,238	29.0
24年3月期	106,475	36,607	29.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 31,578百万円 24年3月期 31,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	134,000	△1.3	3,100	△17.1	3,000	△25.0	1,800	△29.8	8 04
通期	271,000	△0.1	6,100	△16.7	6,200	△17.9	4,100	△8.8	18 32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

#### (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	224,392,998株	24年3月期	224,392,998株
25年3月期1Q	578,138株	24年3月期	576,149株
25年3月期1Q	223,815,554株	24年3月期1Q	223,832,729株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要や個人消費の一部改善が見られるものの、欧州債務危機の再燃、米国や中国の景気減退、円高継続による企業業績の減速が懸念されるなど先行き不透明な環境下での推移となりました。

当業界におきましても引き続き消費者の低価格・節約志向による販売価格の低迷という厳しい事業環境下であり、ハム・ソーセージ並びに加工食品の販売数量は堅調に推移するものの、牛肉や豚肉においては低価格の鶏肉の影響を受け、売価・数量とも低迷する状況となりました。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化の発展に貢献していく」という基本的な考えのもと、諸施策に取り組み収益の確保に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は656億60百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は16億12百万円（同21.4%減）、経常利益は19億29百万円（同21.1%減）、四半期純利益は10億15百万円（同31.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <食肉事業本部>

食肉事業本部においては、牛肉、豚肉の消費低迷と低価格商品が中心のマーケット展開になるなど厳しい事業環境となりました。このような状況のなか、当社グループはオリジナルブランド商品の拡販などに努めましたが、売上高は202億67百万円（前年同期比8.5%減）となり、セグメント利益は2億64百万円（同49.5%減）となりました。

#### <加工食品事業本部>

##### (ハム・ソーセージ部門)

ハム・ソーセージ部門においては、「香薫ウインナー」や連タイプの「ロースハム・ベーコン」などの重点商品の拡販や新商品の定着を進め、数量拡大とシェアアップに努めました。また、業務用商品についても商品開発と連動して数量、客先の拡大に注力しました。

##### (加工食品部門)

加工食品部門におきましては、多様な客先、ニーズに応えるべく開発、営業一体となって取組み、コンビニエンスストア向け商品を中心に引き続き好調な伸びとなりました。また、今年度「惣菜部」を新たに組織し新規・深耕開拓に努めました。

以上の結果、加工食品事業本部（ハムソーセージ部門及び加工食品部門）においては、売上高は453億6百万円（前年同期比1.2%増）となり、セグメント利益は13億92百万円（同8.1%減）となりました。

#### <その他>

その他事業（情報処理、商品検査等）の売上高は87百万円となり、セグメント利益は△44百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ24億30百万円増加の1089億5百万円となりました。これは主に、季節変動により売上債権が5億94百万円増加したこと

によるものと、棚卸資産が11億60百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債については、前連結会計年度末に比べて17億99百万円増加の71億67百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金が22億38百万円増加した一方、短期借入金が1億23百万円減少し、賞与引当金が6億35百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて、剰余金の増加により6億30百万円増加するなどして、37億23百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて1億53百万円減少し108億99百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純利益21億22百万円の計上と減価償却費10億67百万円の計上などにより営業活動における資金は23億51百万円増加しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

生産設備更新および生産性向上、品質安定のため16億50百万円の有形固定資産を取得したことなどにより投資活動による資金は13億7百万円減少しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

長期借入金10億円の調達があったものの、短期借入金1億10百万円、長期借入金12億16百万円の各々返済及び配当金3億79百万円の支払などにより財務活動における資金は8億74百万円減少しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成24年5月14日より変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,078	11,196
受取手形及び売掛金	27,870	28,464
商品及び製品	9,408	10,415
仕掛品	312	421
原材料及び貯蔵品	1,077	1,121
その他	2,965	3,182
貸倒引当金	△18	△18
流動資産合計	52,693	54,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,258	18,672
土地	18,526	18,180
その他（純額）	9,158	9,210
有形固定資産合計	45,943	46,064
無形固定資産	668	655
投資その他の資産		
投資有価証券	3,933	3,842
前払年金費用	876	1,233
その他	2,589	2,609
貸倒引当金	△229	△284
投資その他の資産合計	7,169	7,401
固定資産合計	53,781	54,121
資産合計	106,475	108,905

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,152	31,390
短期借入金	4,575	4,452
1年内返済予定の長期借入金	3,233	3,058
未払法人税等	981	992
賞与引当金	1,108	473
役員賞与引当金	30	0
その他	9,949	10,543
流動負債合計	49,031	50,912
固定負債		
社債	104	83
長期借入金	12,071	12,029
退職給付引当金	3,871	3,925
資産除去債務	85	85
その他	4,703	4,630
固定負債合計	20,836	20,755
負債合計	69,867	71,667
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,363	3,363
資本剰余金	3,964	3,964
利益剰余金	20,990	21,558
自己株式	△62	△62
株主資本合計	28,255	28,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	618	540
繰延ヘッジ損益	△5	△7
土地再評価差額金	2,563	2,563
為替換算調整勘定	△284	△341
その他の包括利益累計額合計	2,890	2,755
少数株主持分	5,461	5,660
純資産合計	36,607	37,238
負債純資産合計	106,475	108,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	67,016	65,660
売上原価	55,350	54,744
売上総利益	11,665	10,916
販売費及び一般管理費	9,614	9,304
営業利益	2,051	1,612
営業外収益		
受取利息及び配当金	49	46
持分法による投資利益	41	24
事業分量配当金	104	126
受取返戻金	140	165
その他	175	143
営業外収益合計	511	507
営業外費用		
支払利息	87	71
為替差損	—	43
貸倒引当金繰入額	—	54
その他	31	20
営業外費用合計	118	190
経常利益	2,444	1,929
特別利益		
固定資産売却益	0	212
投資有価証券売却益	—	10
その他	3	2
特別利益合計	4	224
特別損失		
固定資産除却損	14	20
和解金	17	—
その他	29	11
特別損失合計	61	31
税金等調整前四半期純利益	2,387	2,122
法人税等	617	810
少数株主損益調整前四半期純利益	1,769	1,311
少数株主利益	296	296
四半期純利益	1,473	1,015

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,769	1,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	△78
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	32	△88
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△2
その他の包括利益合計	20	△171
四半期包括利益	1,789	1,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,483	879
少数株主に係る四半期包括利益	306	260

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,387	2,122
減価償却費	986	1,067
減損損失	7	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18	54
賞与引当金の増減額(△は減少)	△399	△664
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△417	54
前払年金費用の増減額(△は増加)	—	△357
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	30	—
受取利息及び受取配当金	△49	△46
支払利息	87	71
投資有価証券売却損益(△は益)	10	△10
持分法による投資損益(△は益)	△41	△24
有形固定資産売却損益(△は益)	4	△212
有形固定資産除却損	14	20
売上債権の増減額(△は増加)	△1,759	△594
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△128	△136
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,949	△1,160
仕入債務の増減額(△は減少)	3,452	2,238
その他の流動負債の増減額(△は減少)	376	845
未払消費税等の増減額(△は減少)	36	△84
その他	△4	△85
小計	2,630	3,098
利息及び配当金の受取額	61	54
利息の支払額	△101	△73
法人税等の支払額	△637	△727
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,952	2,351
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,558	△1,650
有形固定資産の売却による収入	139	432
無形固定資産の取得による支出	△63	△43
投資有価証券の取得による支出	△8	△5
投資有価証券の売却による収入	—	43
関係会社株式の売却による収入	25	—
貸付けによる支出	△18	△78
貸付金の回収による収入	74	6
敷金の差入による支出	△8	△1
敷金の回収による収入	19	3
定期預金の増減額(△は増加)	30	24
長期前払費用の取得による支出	△14	△50
その他	27	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,354	△1,307

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,362	△110
リース債務の返済による支出	△166	△59
長期借入れによる収入	1,000	1,000
長期借入金の返済による支出	△1,026	△1,216
社債の償還による支出	△104	△21
割賦債務の返済による支出	△120	△24
配当金の支払額	△359	△379
少数株主への配当金の支払額	△67	△62
自己株式の取得による支出	△0	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,207</b>	<b>△874</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△15
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△1,595</b>	<b>153</b>
現金及び現金同等物の期首残高	11,098	10,745
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>9,502</b>	<b>10,899</b>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益書計上 額 (注2)
	食肉事業 本部	加工食品 事業本部	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	22,149	44,770	66,920	96	67,016	—	67,016
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,309	9	6,318	9	6,327	△6,327	—
計	28,458	44,779	73,238	106	73,344	△6,327	67,016
セグメント利益	523	1,514	2,038	12	2,050	0	2,051

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益書計上 額 (注2)
	食肉事業 本部	加工食品 事業本部	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	20,267	45,306	65,573	87	65,660	—	65,660
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,836	9	6,845	14	6,860	△6,860	—
計	27,103	45,315	72,419	101	72,520	△6,860	65,660
セグメント利益	264	1,392	1,656	△44	1,612	0	1,612

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。